

「おおきなせなかに」夢をのせ ^{あす}未来に 羽ばたく 元気なまち

SPECIAL NUMBER

2014

.....
平成 26 年度
予算特別号

広 報 だいせん日和



：市町村合併から 10 年目…新たなステージへ
：みんなでジャンプ！だいせんし



「予算」はまちづくりの道しるべ

新しい春の訪れとともに平成26年度がスタートしてひと月あまり。仕事場や学校での慌ただしい生活がちよっぴりひと段落、という方も多いのではないのでしょうか。

市では、4月から第1回大仙市議会定例会での議決を経て成立した、平成26年度予算をもとにした事業を始めました。市町村合併からまもなく10年。社会情勢の変化や地域固有の課題に対応すべく作り上げられた、だいせんの平成26年度予算の概要を市民の皆さんにお届けします。

予算は、市がまちづくりに必要なお金を前もって計算する1年間の収入と支出の計画であり、家計に例えると1年間の収入がいくらで、何にどれくらい使うかというものを示したものです。家庭でいう給料などの収入を「歳入」、食費や生活費、教育費などの支出を「歳出」といいます。

市の予算は、大きく分けて「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つ。これらを取りまとめた冊子が「予算書」と呼ばれるものです。

一般会計は、私たちの生活全般の施策に関する会計です。これに対し特別会計や企業会計は、特定の事業に限定した収支で経理します。

【一般会計予算】

高齢者福祉や児童福祉、保健衛生、道路整備、ごみ処理、学校教育、消防などに使うお金をまとめたものです。

市役所の基本的な仕事をする会計で、大部分がこの一般会計予算に含まれています。

【特別会計予算】

一般会計とは切り離して特定の事業ごとに経理する予算です。

主に、保険税や使用料などの特定の収入で事業を実施します。負担と受益の関係が明確になるなどのメリットがあり、市では18の特別会計を設置しています。

【企業会計予算】

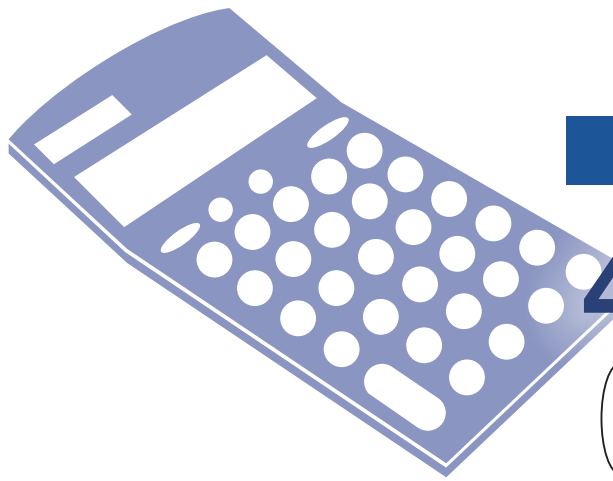
民間企業と同様の独立採算の予算です。

市では、市立大曲病院事業と上水道事業の2つの企業会計を設置しています。

市

役所の各部局や各課は、市民の要望や意見、アイデア等をまとめ、検討しながら昨年秋に「予算要求書」を作成しました。要求書の各事業については、大仙市にとっての優先順位や効果、財政状況など多角的に検討協議（予算査定）されて「予算案」というものになります。そして、予算案は市民の代表で構成される市議会会で審議され、承認されると初めて予算が決まります。

予算とは、お金の使い道をあらかじめ決めておくことですが、それは「単なる目安」ではなく、強い拘束力を持ちます。市は、議会の承認を経て成立した予算に沿って計画どおりに事業を行わなければなりません。部局ごとに予算編成方針を作成し、事業ごとに厳しく審査する一件審査方式で編成された予算は、今年一年の「まちづくりの道しるべ」。その内容を紹介します。



平成 26 年度 一般会計歳入合計

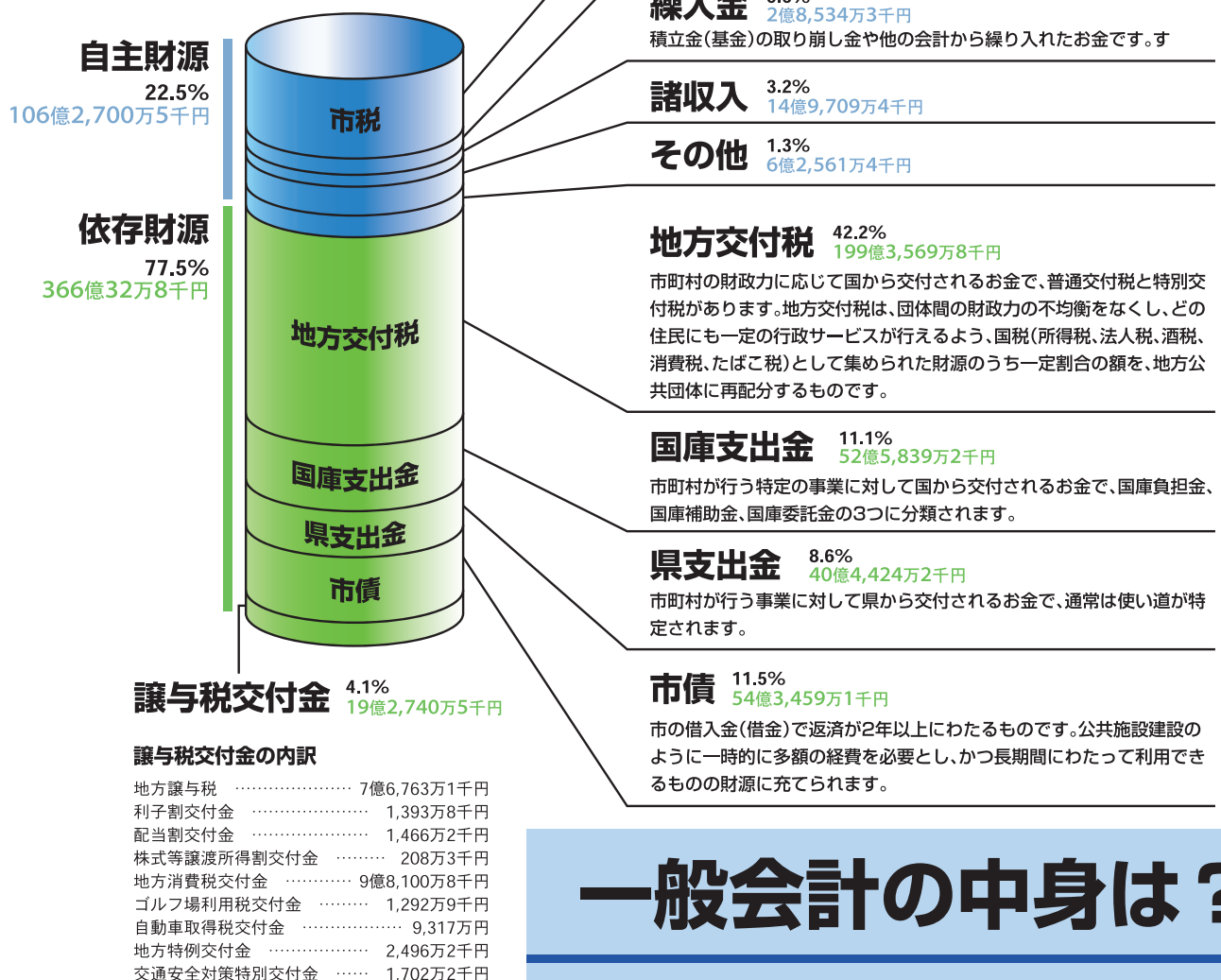
472億 2,733万 3千円

（ 自主財源／ 106 億 2,700 万 5 千円 22.5%
 依存財源／ 366 億 32 万 8 千円 77.5% ）

会計区分	平成26年度	平成25年度	比 較
	当初予算額(A)	当初予算額(B)	(A) - (B)
一般会計	472億2,733万3千円	474億235万6千円	▲1億7,502万3千円
特別会計	198億5,651万2千円	192億6,670万3千円	5億8,980万9千円
国民健康保険事業特別会計	100億6,622万8千円	101億6,914万3千円	▲1億291万5千円
後期高齢者医療特別会計	8億6,558万2千円	8億6,087万3千円	470万9千円
土地区画整理事業特別会計	17億6,481万円	22億8,940万7千円	▲5億2,459万7千円
学校給食事業特別会計	19億5,741万9千円	9億2,630万9千円	10億3,111万円
奨学資金特別会計	3,345万2千円	3,369万2千円	▲24万円
簡易水道事業特別会計	12億5,547万1千円	10億7,877万8千円	1億7,669万3千円
公共下水道事業特別会計	17億1,111万1千円	17億3,998万9千円	▲2,887万8千円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	7億5,032万8千円	7億6,137万8千円	▲1,105万円
特定地域生活排水処理事業特別会計	2,479万1千円	2,561万5千円	▲82万4千円
農業集落排水事業特別会計	12億8,855万9千円	12億4,333万8千円	4,522万1千円
老人デイサービス事業特別会計	5,123万2千円	4,985万8千円	137万4千円
スキー場事業特別会計	7,440万7千円	6,971万7千円	469万円
内小友財産区特別会計	43万円	43万円	0円
大川西根財産区特別会計	41万6千円	831万6千円	▲790万円
荒川財産区特別会計	222万6千円	185万円	37万6千円
峰吉川財産区特別会計	540万2千円	297万円	243万2千円
船岡財産区特別会計	194万8千円	162万円	32万8千円
淀川財産区特別会計	270万円	342万円	▲72万円
企業会計	20億7,970万1千円	21億1,401万円	▲3,430万9千円
市立大曲病院事業会計	10億576万8千円	11億868万5千円	▲1億291万7千円
上水道事業会計	10億7,393万3千円	10億532万5千円	6,860万8千円
予算合計	691億6,354万6千円	687億8,306万9千円	3億8,047万7千円

平成 26 年度 当初予算（一般会計）歳入

収入



一般会計の中身は？

一般会計とは、福祉や道路、教育、消防など市役所の基本的な仕事に関わる収入と支出を管理する会計です。

※ グラフの割合は少数点以下第一位までの表示

収入

家族全員で稼いだ給料 市税・使用料・手数料・諸収入などの自主財源	128万円
諸手当・ボーナス 地方譲与税・地方交付金・国県支出金など	376万円
銀行からの借り入れ 市債	66万円
合 計	570万円

市の予算は「億」単位で数字が大きすぎて実感がわきません。そこで市の予算を年収570万円の家庭に当てはめてみました。

市の予算にはいろいろな種類の歳入や歳出があり、普通の家庭とはちよつと違った内容になっています。例えば、「食費」は必要経費として人件費を当てるなど、一般家庭の家計簿にしてみました。

支出

DATE: 平成 26 年度

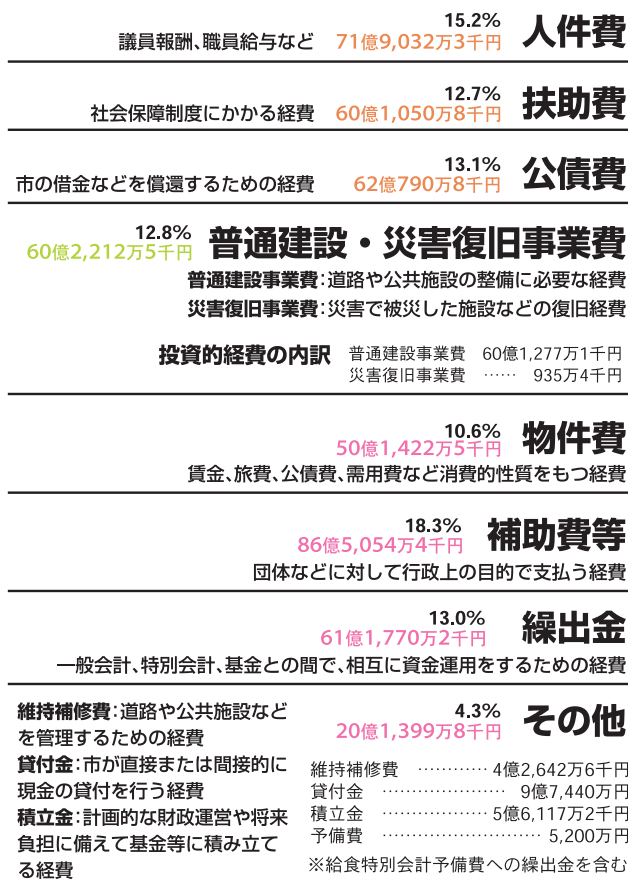
食費	人件費	87万円
医療・教育費	扶助費	73万円
ローン返済	公債費	75万円
光熱水費・通信費・日用品の購入など 物件費など		80万円
子どもの小遣い・保険料・税金・町内会費など 補助費等		103万円
家の増改築・修繕など 普通建設事業費など		78万円
子どもへの仕送り 繰入金		74万円

合 計 570万円

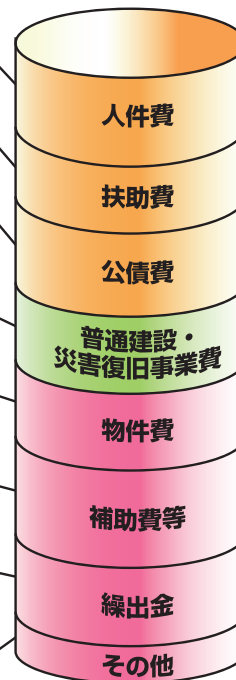
※ 年収570万円は、総務省統計局・全国消費実態調査「秋田県の1世帯当たり年間収入」である570万円を参考

市の予算を家計簿にたとえると
家計簿に見る予算

平成 26 年度 当初予算（一般会計）歳出（性質別）



支出



義務的経費

41.0%
194億873万9千円

普通建設・災害復旧事業費

12.8%
60億2,212万5千円

その他の経費

46.2%
217億9,646万9千円

平成26年度 一般会計歳出合計
472億2,733万3千円

0.2%
5,935万4千円 **その他**
 災害復旧費: 災害で被災した施設などを復旧するための経費
 予備費: 予期しなかった支出に対応するための経費

11.4%
53億8,678万3千円 **公債費**
 事業を行うために借りたお金(市債)の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費

9.0%
42億4,611万5千円 **教育費**
 学校教育・生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費

3.5%
16億6,400万6千円 **消防費**
 火災・防災対策のための経費

10.6%
50億1,926万7千円 **土木費**
 道路や川、公園など社会資本整備のための経費

2.9%
13億8,006万7千円 **商工費**
 商工業や観光の振興のための経費

8.6%
40億4,935万8千円 **農林水産業費**
 農林漁業振興のための支援や生産基盤整備などの経費

0.3%
1億4,620万1千円 **労働費**
 出稼ぎ支援や雇用対策などの経費

0.7%
3億5,240万1千円 **議会費**
 議会運営の経費

10.5%
49億4,596万2千円 **総務費**
 行政全般の事務などに関する経費

28.7%
135億5,908万7千円 **民生費**
 障がい者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費

13.6%
64億1,873万2千円 **衛生費**
 環境保全、疾病予防、健康増進などの経費

平成 26 年度 当初予算（一般会計）歳出（目的別）



みんなが気になる 市の「借金」・・・

A Talk about "Public Loan"

「市債残高」の話

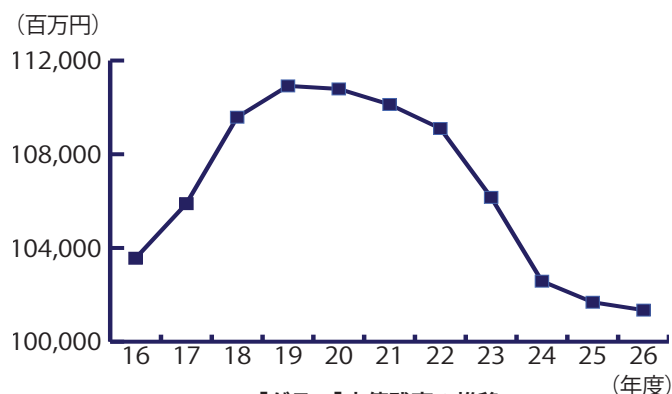
【市債残高は減少傾向】

市債は、道路や学校、下水道などの公共施設の建設や整備（社会資本整備）のために必要な資金調達として発行されます。

長期にわたって使う予定の施設整備にかかる費用をそのときの市民が全てを負担するのではなく、将来、施設を利用する市民にも公平に負担してもらうことが市債の重要な役割です。

厳しい財政状況で行政課題を解決するには、財源を確保するため市債を有効に活用していくことが必要です。そのため、市は、公平性や返済額・借入額のバランスなどを考えながら市債を管理し、将来に大きな負担を残さないよう、計画的な借り入れや償還に努めてきました。その結果、平成19年度をピークに市債残高は減っています。（下のグラフと表を参照してください）

現在の市債残高は、1013億円。そのうち、約614億円は国から後年度に交付されるため、実質の市の借金は約399億円です。



年度	市債現在高(千円)	増減率
16年度	103,562,014	—
17年度	105,891,857	2.2%
18年度	109,580,661	3.5%
19年度	110,916,869	1.2%
20年度	110,788,408	▲0.1%
21年度	110,125,430	▲0.6%
22年度	109,099,356	▲0.9%
23年度	106,158,729	▲2.7%
24年度	102,581,559	▲3.4%
25年度	101,682,585	▲0.9%
26年度	101,347,353	▲0.3%

【表】年度別市債現在高 ※増減率は前年度比

主な事業の説明

(8～15 ページ)

平成26年度の新規事業

事業名	予算額	担当課	ページ
乳幼児保育推進事業費	1,204万円	児童家庭課	9
風しん予防接種(任意)助成事業費	407万7千円	健康増進センター	9
学校施設天井等落下防止対策事業費	1,176万9千円	教育総務課	9
大豆栽培モデル対策事業費	2,257万1千円	農林振興課	11
園芸メガ団地整備事業費	3億4,879万円	農林振興課	11
「未来へつなぐ」農村地域サポート事業	550万円	農林振興課	11
あきた水と緑の森林祭開催経費	450万6千円	農林振興課	11
花火産業構想調査費	100万円	総合政策課	12
新規開店応援事業費	600万円	商工観光課	12
水田機能維持支援事業費	360万8千円	農林振興課	12
大仙市首都圏PRイベント事業費	229万7千円	商工観光課	12
市街地再開発事業費	5億178万8千円	重点政策推進室	12
半道寺地区簡易水道施設改修事業費	240万円	西仙北支所農林建設課	13
仙北中央地区簡易水道整備事業費	1,463万8千円	仙北支所農林建設課	13
通学路グリーンベルト設置事業費	1,132万6千円	環境交通安全課	14
雪対策総合計画策定経費	59万3千円	総合政策課	14
大仙市誕生10周年記念事業費	39万3千円	総合政策課	15

平成26年度の拡充事業

事業名	予算額	担当課	ページ
障がい者等地域生活支援事業費	7,314万6千円	生活支援課	8
障がい者通所施設等交通費助成金支給事業費	174万2千円	生活支援課	8
だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業費	556万2千円	教育指導課	9
こころのプロジェクト「夢の教室」事業費	232万3千円	教育指導課	9
住宅リフォーム支援事業費	6,608万6千円	建築住宅課	12
大沢郷地区簡易水道区域拡張事業費	8,467万2千円	西仙北支所農林建設課	13
淀川地区簡易水道水源新設事業費	2,212万円	協和支所農林建設課	13
農業集落排水事業費	3,289万7千円	下水道課	13

- 1 保健・医療の充実
- 2 子育て支援の充実
- 3 社会福祉の充実
- 4 高齢者福祉の充実
- 5 社会保障の充実

安心して 健やかに暮らせる まちづくり

包括的支援事業・任意事業費

2,787万9千円

担当課／高齢者あんしん相談室（地域包括支援センター）

高齢者の総合相談や高齢者虐待の対応などの包括的支援業務と家族介護支援や認知症施策に関する事業などを行います。

【事業概要】

- 権利擁護業務(成年後見制度の活用支援や高齢者虐待への対応などの業務)
- 多職種連携の会(医療、介護、福祉などの関係機関との連携強化)
- 認知症予防対策事業（タッチパネルを活用した検査を行い、医療や介護予防に結びつけるための教室を開催）
- 認知症高齢者家族支援事業(認知症の方を介護する家族に対し、交流の場を提供する「たんぼの会」の開催)
- 認知症高齢者地域支援事業（認知症に対する正しい知識を習得するための「認知症サポーター養成講座」の開催など）

特定不妊治療等

・ 不育症治療費補助金

385万8千円

担当課／健康増進センター

不妊、不育症の治療を受けている夫婦の経済的負担、精神的負担の軽減と、少子化対策の推進のために、治療費を助成します。

【事業概要】

- 特定不妊治療、人工授精治療 1回あたり10万円を限度に単年度あたり3回まで5カ年助成
- 不育症治療 1回あたり15万円を限度に単年度あたり2回まで5カ年助成

障がい者通所施設等交通費 助成金支給事業費

拡充

174万2千円

担当課／生活支援課

障がい福祉サービス事業所（自立訓練・就労移行支援・就労継続支援）に通所している障がい者に対して、交通費を助成し、自立した社会生活を営めることを支援します。

【対象者】

公共交通機関や自家用自動車を使用している方

今年度から、市外の事業所を利用している方も対象となります。

【助成額】

月額5,000円を上限に支給します。

障がい者等地域生活支援事業費

拡充

7,314万6千円

担当課／生活支援課

地域住民や関係機関と連携し、障がい者等の自立した生活を支援する事業です。日常生活相談支援事業、日常生活用具給付事業、訪問入浴サービス事業などを行います。26年度は、新たに障がいについての理解を深めるための普及啓発事業や手話奉仕員・要約筆記奉仕員の養成研修などを行います。

高齢者生活支援サービス事業費

5,130万2千円

担当課／高齢者あんしん相談室（地域包括支援センター）

生活支援や家族介護支援などのサービスを提供し、高齢者やその家族の生活を総合的に支援します。

子ども・若者育成支援事業費

1,366万7千円

担当課／社会福祉課

「大仙市子ども・若者総合相談センター」を拠点に、不登校・ひきこもり等の問題を抱える子ども・若者等からの相談に応じるとともに、教育・福祉・雇用分野などの関連機関の連携による学校復帰や社会復帰への取り組みを支援します。

【事業概要】

- 気軽に参加できる居場所づくり
- 対人スキルなど自立準備トレーニング
- 復学や就労に向けた個別プログラムによる自立支援活動

敬老の日事業費

3,939万7千円

担当課／社会福祉課

高齢者の長寿を祝い、長年地域社会に貢献してきた高齢者に敬意と感謝の意を表するとともに市民の敬老意識の涵養を図るきっかけとします。

【事業概要】

- 敬老会の開催
- 長寿祝い金の贈呈



[写真]平成25年度神岡地域敬老会

あす 未来を創り 心豊かな人を育む まちづくり

キャリア教育推進 「総合的な学力育成」事業費 303万9千円

担当課／教育指導課

キャリア教育やふるさと教育など、総合的な学力を育成するためのさまざまな事業をひとまとめにし、事業の効率化とより柔軟な事業実施を図ります。

【事業概要】

- 教育アドバイザー設置事業／教育アドバイザー1名を配置し、学校経営やキャリア教育などに関する助言により、児童生徒や保護者の教育支援、教職員の指導支援を実施します。
- ふるさと体験学習推進事業／市内農家への宿泊体験学習を実施します。
- 環境教育／大曲南中、角間川小、藤木小の3校が連携し、環境に関する体験学習などを実施します。
- 拠点校・協力校英語授業改善プログラム事業／大曲中・大曲西中・大曲南中・大曲小・大曲農業高校・大曲工業高校が連携して英語授業の改善と英語力の向上に努めます。



[写真] 夢の教室(協和小)

学校施設天井等落下防止対策 事業費 新規

1,176万9千円

担当課／教育総務課

東日本大震災を教訓に大規模災害等の発生に備え、市内32小・中学校の体育館などの天井等の落下防止のための点検・調査を実施します。

だいせん防災教育 「生き抜く力育成」事業費 拡充

556万2千円

担当課／教育指導課

大規模災害発生時に避難所となる学校と地域の自主防災組織などが連携し、災害時の避難所運営について実践的な訓練を実施し、防災教育の充実と家庭や地域の防災意識の向上を図ります。また、これまで各学校で実施してきた被災地の学校等との交流活動を支援します。

こころのプロジェクト 「夢の教室」事業費 拡充

232万3千円

担当課／教育指導課

子どもたちにプロのアスリートや芸術家との交流の機会を提供し、夢をもつことや、その実現のために努力することの大切さを学ぶ授業を実施します。

【事業概要】

- 平成26年度計画
小学校／スポーツ・音楽・図工各4回
中学校／スポーツ2回、音楽3回



[写真] 三園合同体育遊び交流会(大曲)

風しん予防接種(任意) 助成事業費 新規

407万7千円

担当課／健康増進センター

先天性風しん症候群の予防のため、風しん抗体検査(血液検査)と風しん予防接種費用を全額助成し、将来において安心して妊娠、出産できる環境づくりに努めます。

こどもの福祉医療費 1億9,990万6千円

担当課／国保年金課

乳幼児・就学期の子どもにかかる医療費を助成する制度です。



県の制度の医療費助成対象者は0歳から小学生までですが、市では中学生の入院時の医療費も助成対象とし、さらに所得制限額も県の基準を緩和して実施します。また、県の制度に市が上乗せ助成を行うことにより、医療費の自己負担分を全額助成します。

乳幼児保育推進事業費 新規

1,204万円

担当課／児童家庭課

乳幼児(0・1歳児)が年度途中でも容易に保育所へ入所できるよう、途中入所に備えた保育士を配置し、子育て世帯を支援します。

- 1 学校教育の充実
- 2 生涯学習の推進
- 3 芸術、文化の振興
- 4 スポーツ、レクリエーションの推進

子ども読書活動推進事業費

583万7千円

担当課／生涯学習課総合図書館

子どもたちが自主的に読書に親しむ習慣を身に付けられるような環境づくりを進めるため、家庭や地域、保育所・幼稚園・学校、図書館での読書活動を推進します。

【事業概要】

- ブックスタート事業／4カ月健診の際にブックスタートパック（絵本2冊、子育て情報誌、図書館案内、図書館利用カード申請書、読み聞かせ会の日程表など）を贈呈
- 公立図書館と学校図書館の連携／子ども読書支援サポーターの配置による支援体制の強化

全県 500 歳・550 歳野球大会関係費

224万円

担当課／スポーツ振興課

「一生スポーツ、一生健康」のキャッチフレーズのもと、野球をこよなく愛する熟年世代の心身の健康増進と地域の活性化を図ります。

旧池田氏庭園整備事業費

9,076万8千円

担当課／文化財保護課

国指定名勝「旧池田氏庭園」の学術・鑑賞的価値の保存伝承を図るため、庭園保存整備管理計画に基づき、16年度から45年度までの30年計画で国庫補助事業を活用した整備を進めています。

26年度は米蔵修復工事等を実施し、文化的観光資源としての魅力向上を図ります。

総合市民会館運営費

4,012万8千円

担当課／生涯学習課総合市民会館

市民に優れた芸術や文化を身近で鑑賞できる機会を提供します。

【26年度の主な自主事業公演】

- 協和市民センター（和ピア）／能公演（観世流）（9月）
- 仙北ふれあい文化センター／民俗芸能フェスティバル（9月）
- 中仙市民会館（ドンパル）／須川展也サクソフォンリサイタル（12月）
- 大曲市民会館／宝くじのまち音楽会（3月）

国民文化祭関連事業費

2,854万1千円

担当課／生涯学習課

26年10月4日から11月3日までの期間に秋田県で国内最大の文化の祭典「第29回国民文化祭あきた2014」が開催されます。市では、次の事業を主催します。

【事業概要】

- 「囲碁サミット2014 in 大仙」／10月4日（土）・5日（日）プロ棋士によるトークセッション、パネルディスカッション、子ども囲碁大会、子ども囲碁教室
- 「国指定名勝旧池田氏庭園 秋の園遊会」／10月4日（土）～11月3日（月・祝）庭園を公開し、華道や茶道・琴などの伝統文化や民俗芸能によるおもてなし
- 「秋田の美×写真の力」／10月4日（土）～11月3日（月・祝）木村伊兵衛特別写真展、シンポジウム「木村伊兵衛の世界」、秋田美人フォトコンテスト

学校生活支援事業費

9,560万6千円

担当課／教育指導課

小・中学校のさまざまな課題をもつ児童生徒をサポートする支援員を配置し、個々の実情に合ったきめ細かな指導を行うことで教育環境の充実を図ります。また、支援員を指導する教育アドバイザーを配置し、支援方法の工夫改善に努めます。

【事業概要】

- 学校生活支援員（小学校）／55人
- 日本語指導支援員（中学校）／1人
- 複式学級支援講師（小学校）／1人
- 教育アドバイザー／1人



【写真】

- 1 全県からおよそ180チームが大仙市に集結。シニア野球愛好家がいぶし銀のプレーを繰り広げる「500歳野球大会」
- 2 幅広い年齢層が参加し、さまざまなスポーツを楽しんだ「チャレンジデー」（写真は昨年の中仙小の様子）

いきいきと 希望を持って活躍できる まちづくり

鮭資源等確保活用事業費

1,387 万円

担当課／農林振興課

歴史ある雄物川や玉川での鮭との関わりを通して、鮭資源や河川環境の保護を図ります。

【事業概要】

- ふ化放流事業
- 採捕事業

園芸メガ団地整備事業費

新規

3 億 4,879 万円

担当課／農林振興課

JA秋田おばこが事業主体となり、中仙地域において実施するトマトの大規模園芸団地（園芸メガ団地）を整備する事業を支援します。

【事業概要】

- パイプハウスの設置
- 養液栽培システムの設置

「未来へつなぐ」 農村地域サポート事業

新規

550 万円

担当課／農林振興課

多面的機能支払交付金事業に参加した非農家割合により補助金の基本額・加算額を定め、活動組織に交付することにより農村集落コミュニティ向上のための事業を実施します。

【事業概要】

- 里山の保全活動
- 高齢者住宅等の除雪活動
- 伝承文化の継承活動
- 地域の防犯安全活動

大豆栽培モデル対策事業費

新規

2,257 万 1 千円

担当課／農林振興課

新たな米政策に対応し、広範な水田の有効活用を図るため、土地利用型作物である大豆生産を推進し、団地化や収量・品質向上に向けた取組みを支援します。



【事業概要】

- 生産技術向上に向けた実証ほ場設置等
 - 団地規模・収量・品質の実績に応じた助成
 - 品質区分2等級以上の出荷割合が一定以上の経営体に助成
 - 団地の連担化に協力した経営体に助成
- ※助成金の交付対象者はいずれも経営所得安定対策加入者

あきた水と緑の森林祭開催経費

新規

450 万 6 千円

担当課／農林振興課

中仙の八乙女公園で開催される「あきた水と緑の森林祭」（7月21日開催予定）により、「水と緑の森づくり税」や「緑の募金」の普及啓発を図り、県民参加の森づくりを推進します。

【事業概要】

- 合併記念植樹
- 植栽環境整備
- 記念花火の打上

埋蔵文化財調査費

594 万 8 千円

担当課／文化財保護課

市内には現在487カ所の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が確認されていますが、ほ場整備事業や分譲宅地工事などの開発事業で遺跡が壊されることがないように、また、事業が円滑に実施できるよう調整を図ります。遺跡の分布調査や試掘調査の実施後、1年間の調査結果をまとめた調査報告書を作成し、埋蔵文化財の基礎資料として活用します。

スポーツ振興事業費

879 万 2 千円

担当課／スポーツ振興課

市民がライフスタイルに応じたスポーツを楽しめる地域コミュニティの場を提供します。

【事業概要】

- 住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」（毎年5月最終水曜日）を継続的に実施
- プロ野球OBによる野球教室（年2回）を実施。地元小・中学生がプロ野球OBと交流し、技術を学べる機会を提供

荒川鉱山跡地保存活用事業費

704 万 1 千円

担当課／協和支所市民サービス課

跡地活用構想の実施計画に基づき、26年度は遊歩道整備や嗽沢坑口跡の復元整備などを行います。

【事業概要】

- 鉱山跡地を巡る遊歩道の整備
- 嗽沢坑口跡の復元
- 管理棟（旧鉱山資料館）の修繕など



[写真] まほろば唐松定期能公演（協和）

4 生活の 基盤が整った まちづくり

市街地再開発事業費

新規

5 億 178 万 8 千円

担当課／重点政策推進室

大曲厚生医療センターの開院に伴い、旧仙北組合総合病院の解体工事のほか、その後の南街区（事務所棟・健康福祉棟・児童福祉棟・駐車場棟）整備工事を支援します。



旧仙北組合総合病院

中通線街路整備事業費

1 億 9,069 万 6 千円

担当課／都市管理課

JR大曲駅の東西地区を結ぶ重要な環状道路である都市計画道路中通線を整備する事業です。

【事業概要】

- 事業期間／23年度～27年度
- 全体事業費／4億3,742万9千円

大曲駅前第二地区 土地区画整理事業費

8 億 9,302 万 3 千円

担当課／土地区画整理事務所

大曲駅周辺の土地区画整理事業を進め、にぎわいある商店街の形成や宅地利用の増進など中心市街地の再生を図ります。26年度は、中通線の新設・舗装工事のほか、水路工事などを行います。

【事業概要】

施行地区面積／25.7ヘクタール
施工期間／平成27年度まで

- 1 農林水産業の振興
- 2 商業の振興
- 3 工業の振興
- 4 観光の振興
- 5 雇用の安定、就労の促進

大仙市雇用助成金

2,992 万 5 千円

担当課／企業対策課

65歳未満の大仙市民を新規雇用し、1年以上継続して雇用している事業所に対し、助成金を交付します。

【事業概要】

- 雇用促進助成金：一般10万円、新卒30万円、事業主都合離職者15万円
- 雇用奨励助成金：一般15万円、新卒60万円
- 圏域雇用助成金：1人につき5万円

花火産業構想調査費

新規

100 万円

担当課／総合政策課

「花火のまち」という全国に誇れる地域ブランドを活用した新たな産業の創出を目指す「花火産業構想」の実現に向け、必要な調査などを行います。

【事業概要】

- 関係省庁・団体との協議や各種調査など



新規開店応援事業費

新規

600 万円

担当課／商工観光課

市が指定する道路沿線に新規開店する店舗に対し、建設や改装に要する経費、設備費、賃借料の一部を助成します。（業種・営業時間・売場面積等の要件あり）

3

水田機能維持支援事業費

新規

360 万 8 千円

担当課／農林振興課

中山間地域など条件不利地における水田の有効活用を図り、地域の農地を維持し営農を継続できる環境を整えるため、好適作物とされるソバや、ブルーベリーの作付に対し支援します。

【事業概要】

- 「そば」：出荷及び景観作物としての作付に対する助成、検査費助成
- 「ブルーベリー」：防風網・防鳥網の資材のほか、新植・補改植における苗木代等の一部を助成（事業費の1/3以内補助）

大仙市製造業企業力アップ応援 事業費補助金

150 万円

担当課／企業対策課

市内製造業における人材育成、販路拡大など、総合的な企業力の向上を目指す取り組みに対し、経費の2分の1以内（上限12万円）の補助を行います。

大仙市首都圏 PR イベント事業費

新規

229 万 7 千円

担当課／商工観光課

大仙市観光物産協会が主体となり、首都圏において市の特産品販売や観光PRイベントを開催し、市の魅力を全国に発信し、知名度アップを図ります。

- 1 道路の整備
- 2 公共交通の整備
- 3 市街地の整備
- 4 上水道の整備
- 5 下水道等の整備

淀川地区

簡易水道水源新設事業費 拡充

2,212 万円

担当課／協和支所農林建設課

協和地域の淀川地区簡易水道で、新たな水源を確保するための経営認可変更申請と実施設計を行います。

半道寺地区簡易水道施設 改修事業費

新規

240 万円

担当課／西仙北支所農林建設課

西部学校給食センターへの水道水の供給開始に向けて、経年劣化が進む現在の施設を改修します。26年度は経営認可変更申請を実施します。



半道寺地区簡易水道施設

農業集落排水事業費 拡充

3,289 万円

担当課／下水道課

経年劣化が進んでいる農業集落排水施設の機能診断を実施します。26年度は、対象施設23カ所のうち9カ所の調査を行います。また、協和地域の下淀川地区で、管路延伸工事を実施します。

地域住宅整備事業費

1 億 383 万 2 千円

担当課／建築住宅課

市営住宅の修繕計画を定め、長寿命化による更新コストの削減と整備事業量の平準化を図ります。26年度は、上大町市営住宅の耐震改修工事と、老朽化が著しい天神前市営住宅の建て替えに向けて、設計費用などが盛り込まれています。



上大町市営住宅

大沢郷地区 簡易水道区域拡張事業費 拡充

8,467 万 2 千円

担当課／西仙北支所農林建設課

江原田小規模簡易水道組合と木沢・金山沢簡易水道組合を、隣接する大沢郷地区簡易水道に統合するため、配水管布設工事を実施します。

仙北中央地区 簡易水道整備事業費 新規

1,463 万 8 千円

担当課／仙北支所農林建設課

未普及地域を含めた既存の簡易水道組合の統合整備を行います。26年度は、経営認可申請を実施します。

地域交通対策事業費

4,490 万 6 千円

担当課／総合政策課

路線バスの廃止に伴う代替策や公共交通空白地域の解消策として乗合タクシー、市民バスなど各地域の



実情に応じた交通システムを運行し、住民の日常生活における足の確保を図ります。

循環バス(大曲)、コミュニティバス(太田)、市民バス(西仙北・南外)、乗合タクシー(中仙・太田を除く6地域)の運行のほか、民間タクシー会社が実施している乗合自動車(中仙)の利用者へ助成を行います。

住宅リフォーム支援事業費 拡充

6,608 万 6 千円

担当課／建築住宅課

環境、省エネ、バリアフリー、耐震化のいずれかの目的を主とした住宅の改修工事にかかる経費の一部を補助することで、居住環境の向上と市内住宅産業の活性化、雇用創出を図ります。

26年度は、克雪対策工事も補助対象に加えたほか、過去に補助を受けた方も限度額までは再申請ができるようになりました。



- 1 自然環境の保全
- 2 住宅環境の整備
- 3 公園・緑地の整備
- 4 衛生環境の整備
- 5 公害防止対策の推進
- 6 生活安全、安心確保
- 7 雪対策の強化

環境と調和し 快適で安全に暮らせる まちづくり

消防施設・設備整備費 消火栓設置費等負担金

3,098万7千円

担当課／総合防災課

火事や災害に備えるため、消火栓や防火水槽等の消防水利の設置や維持管理、消防用小型ポンプや積載車等の消防団が使用する消防資機材の購入や維持管理を行います。

公共施設再生可能エネルギー等 導入事業費

3億2,120万1千円

担当課／環境交通安全課

災害時に避難所施設として最低限の機能維持を図り、災害に強く環境負荷の少ない地域づくりを進めていくため、市内の中学校7校に太陽光発電・蓄電池システムを導入します。

【事業概要】

導入設備／【大曲西・西仙北・中仙・協和・仙北 各中学校(屋上設置)・太田中学校(地上設置)】太陽光発電設備15kW、蓄電池15kWh 【平和中学校(壁面設置)】太陽光発電設備10kW、蓄電池15kWh

雪対策総合計画策定経費

新規

59万3千円

担当課／総合政策課

降雪期においても、市民が安全安心な日常生活が送れるよう総合的な雪対策の計画を策定します。

【事業概要】

○雪対策総合計画策定委員会による計画の検討など

通学路グリーンベルト 設置事業費

新規

1,132万6千円

担当課／環境交通安全課

市内各学校の通学路となっている主要道路にグリーンベルトを設置。通学路であることを運転者に視覚的に認識させ、通行車両の減速を促し、通学する児童や生徒の安全を確保します。各学校等から要望のある路線を対象に2年計画で設置し、毎年見直しを行います。

空き家等対策費

729万1千円

担当課／総合防災課

空き家等の状況を管理するシステムを活用し、市内全域にある空き家の実態を把握します。

また、「大仙市空き家等の適正管理に関する条例」に基づく助言、若しくは、指導または勧告に従って解体処理を講じた所有者等に対し補助金を交付するなどして、空き家の適正管理を図ります。

災害に強いまちづくり事業費

726万6千円

担当課／総合防災課

自主防災組織の活動強化を支援するため、ヘルメット・担架等の防災資機材の配備や、活動経費補助金、防災リーダー（防災士）を育成する等、市民の防災に対する意識の高揚を図ります。

また、主要な避難所へ自家発電機を設置し、避難所機能の強化を図ります。



〔写真〕

- 1 自動車の運転者に通学路を視覚的に認識させることで通学する児童や生徒の安全を確保する「グリーンベルト」(写真は太田地域藤木地内)
- 2 災害発生時の避難所としての機能を高めるため、市内の中学校で導入が進められている太陽光発電・蓄電池システム(写真は南外中学校)
- 3 昨年に引き続き大雪に見舞われた大仙市。市民の日常生活にも多大な影響を与えた。

1 行政運営の効率化 2 市民との協働 計画の推進にあたって

大仙市誕生 10 周年記念事業費 新規

39 万 3 千円

担当課／総合政策課

大仙市誕生から10周年を記念し、27年3月に記念式典を開催するための準備を進めます。



〔写真〕平成22年に行われた5周年記念式典

「がんばる集落」活性化支援事業費

1,002 万 2 千円

担当課／総合政策課

自治組織が自ら行う維持・活性化のための模範的な取り組みに対して補助金を交付します。

【事業概要】

- ①小規模集落・地区振興モデル支援
- ②地区ビジョン策定支援
- ③集落支援員導入集落活動支援

むすび・サポート事業費

56 万円

担当課／男女共同参画・交流推進課

定期的な結婚相談会や出会いイベント等を実施し、結婚する気運を高めながら脱少子化や地域の活性化に取り組みます。

仲間とふれあい ともに活躍できる まちづくり

- 1 地域情報化の推進
- 2 男女共同参画社会の形成
- 3 地域間交流の促進
- 4 国際交流の促進

自治会育成支援事業費補助金 2,690 万 5 千円

担当課／総合政策課

市内自治会の組織化と住民主体による地域づくり活動、自主運営している自治会館などの維持管理経費の一部を補助します。

【補助対象の数】

- 自治活動および地域づくり活動／518自治会
- 自治会館維持管理費／386会館

地域振興事業費（地域枠）

5,500 万円

担当課／総合政策課

市民と行政との協働のまちづくりを推進するため導入している、市独自の予算制度です。地域の課題や問題を解決するための活動を支援します。

【配当額】

大曲地域／1,000万円
その他の地域／1地域500万円に加え、1,000万円を7地域に人口割配分



〔写真〕大曲四ツ屋の5地区が合同で行った梵天奉納（「がんばる集落」活性化支援事業）

コミュニティFM開局準備経費 3,358 万 1 千円

担当課／総合政策課

コミュニティFM局を27年8月に開局するため準備を進めます。

【事業概要】

- 開局にむけた免許申請、電波調査、イベントFMの実施、スタジオ設計、番組・機材操作研修など

男女共同参画推進経費

134 万 4 千円

担当課／男女共同参画・交流推進課

地域の実情や時代のニーズに応じた「大仙市男女共同参画プラン」の改訂に向けた作業を進めます。

国際教養大学交流事業費

50 万 7 千円

担当課／男女共同参画・交流推進課

国際教養大学と提携している「国際交流に関する連携プログラム」に基づき、市内の子どもたちと同大学の留学生との交流を推進します。

おおきなせなかに

夢を乗せ ^{あす}未来に 羽ばたく 元気なまち

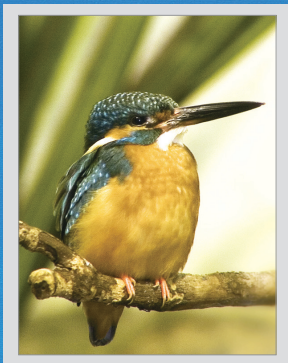
市の花木鳥



コスモス



ケヤキ



カワセミ



— 大仙市民憲章 —

わたくしたちのまち大仙市は、豊かな自然と広大な田園に囲まれ、先人のたゆまぬ努力によって栄えてきた歴史あるまちです。

わたくしたちは、この貴重な遺産や自然の恵みに感謝し、市民一人ひとりが誇りと責任を持って、いきいきと暮らせる100年都市をめざして、ここに市民憲章を定めます。

- 自分を高め 心を寄せ合い めくもりのあるまちをつくります
- ふるさとを愛し 緑の山河を守り 美しいまちをつくります
- きまりを大切に 力を合わせ みんなで働くまちをつくります
- 健康に努め 家族を思いやり 笑顔の輝くまちをつくります
- 歴史を見つめ 伝統に学び 文化の花咲くまちをつくります

広報だいせん日和 — 予算特別号 2014 —

平成 26 年 5 月発行

編集発行／大仙市役所 総務部財政課

企画部総合政策課

〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号

☎0187-63-1111 (代表)